

2009.OCT

釣り人が創る逸品釣具

ぎあ・らぼ

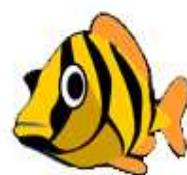
お気楽Gear-labニュースレター第11号です。

Gear-Lab製品をご利用ありがとうございます。

今、旅の途中のホテルでこのニュースレターを書いてあります。仕事上いろんなホテルに泊まって廻るのは好きなのですが個人的に一番好きなのは旅館です。寅さんのような旅をしているとなおさらそう思います。その旅館ですが老舗になると建て増しの場合が多くて迷路のようになっているところがありますね。仲居さんに1回案内してもらっただけでは分からなくて、大浴場に行くのに浴衣着てロビーをタオルと着替えのパンツを持ってウロウロしているお客様って本当に多いです。>^_< 「お風呂はB1にあります。」と教えてくれたのでてっきり下の階かと思ったら上の

階だったりしました。あの迷路のような旅館は異空間で非常識的です。ですから最近は外国のホテルがそれを真似し始めました。有名な大阪のリッツカールトンホテルでさえゴチャゴチャした通路になっているのは驚きです。人に聞かないとトイレがわからない。でもそれで小さな出会いが生まれるんですね。

一人旅は寂しいからこそ、ちょっとした会話がとても嬉しいります。海外ならなおさらですね。だから私は旅が大好きです。血は争えないもので18歳の息子は来週より半月くらい一人旅にでるらしいです。



Gear-Labができるまで。泣いた。笑った。感動した。（その9）最終回

WebでROCKとラジコンフィッシングボート、FRP製のクーラーなどを売っていましたが、自宅のマンションは作業場と倉庫と化してしまい、接着剤の臭いや機械工具の騒音で家族はもうイイ迷惑です。そのうえに「ちょっと手伝って。」と悪魔の声がすぐに聞こえてくるといいます。

階下の人からは「うるさい！」と怒られることあります。（~_~;）

自分で作って、自分でWebで売っていましたが、注文数は少なくて、何でも自分でなくてはならないので大変です。

ん？？？自分みたいな人間って日本中探したら結構いるんじゃなかろうかとぼんやり考えていました。

そんな仲間を全国から集めてフラットな

組織を作ると面白いかも、インターネットがあるからそれも簡単かも。と思い「みんなの釣具研究室」という名前のサイトを作りたいな～っと漠然と考えている程度だったのですが、私が本当に好きなのはモノづくりは勿論ですがそれだけではなく、そのモノを介绍了との出会いでした。

そんなときに@nifty釣りフォーラムと出会ったのです。パソコン通信で今から25年前くらいから栄え、一つの大きな文化を創ったと思います。もちろんインターネットという言葉を知らなかった時代なのですが@nifty釣りフォーラムは登録会員数は14万人を超える国内最大のコミュニティーだったのです。そのフォーラムマネージャーJUNさん（山出氏）からいきなり電話をもらって、「ROCKを買いましたが、これ気に入っています。しかしながら面白いこととしてますね。」と。

釣りフォーラムで「逸品釣具の通販をしたいのですがお会いしませんか。」という電話に「ああいいですよ」と。何故か大分市で会いました。私は「みんなの釣具研究室」を発展させたいという意見でしたが、通販と研究室と一緒にやりましょう。と短い時間でしたが、あれやこれやと話をして、やっと何

かがスタートする感触を得てから、私は全国へ旅にでました。そうです。仲間探しです。2ヶ月で約30人の仲間を見つけていました。30人全て会って飲んで仲間となったという感じです。

まだサイトを構築しているわけではなく、当然全く信用がありません。突然の電話に皆驚いて「なんだこの人は？」と最初は恐る恐る会ってくされました。中には信用調査までされた人もいて、それほど怪しかったんでしょう。強盗のような面会だったのです。今でもそのときのメンバーとはその話で大笑いします。（^_^）

でも実際に会ってお互い釣り人だし、モノづくりが好きだし共通の話題とお酒があればもうそれで完璧です。そのときと今と決して変わらないことがあります。

私は釣具がきっかけで人と会うことが多いのですが、モノよりも人でやるかやらないかと決めます。どんなに良い釣具でもそれを作る人が私が嫌だなあいうタイプの方だとしたらGear-Labでは扱いません。「この釣具は儲かりそうだから。少しくらい人間関係は我慢しなくちゃ。」なんて考えてうまくいったことはサラリーマン時代も含めて1回もなかったことを経験してました。確実に言えることは長期的なつきあいは絶対にできないという事実でした。

（次ページに続く）

Gear-labは普通の釣具店にはない新しく夢のある逸品釣具を紹介し続けます。全国の熱い人たちと共に本当に良いものを世の中に出すことに真剣であり常識にとらわれない商品開発や逸品釣具を求める方とのみチームを組んでいきます。



つづき 逆に相手の人を見て、この人と長期的にやりたいな。と考えたらまらない開発釣具でも懸命になってプラスアップしたいという姿勢になっていきます。今大事なのはモノではなくヒューマンスキルなのだという考えはあのときと今と全く変わっていません。

フラットテンピンを作っている江藤スプリングの江藤さんは8年間も東京で焼酎友達？だったのですが、それがナント今回のEZノッターという素晴らしい製品(自分で言うのもなんですが)を作っていくことになっていきます。

長期的に一緒にやりたいなと思っている人から「あの～。面白い釣具を考えたんですけど。」「よしやりましょう！」「え？まだ何も話していないんですが。」「いや貴方とはヤルと決めているんです。」という感じで話します。

そんな関係で作ったショッピングモールは本当に最高の仲間達です。勿論売り買いの上下関係も殆どありません。

「売ってくれなかったらどうしよう。」という気持ちでいると仕入れ先を自然に大事にしますよね。その姿勢は益々いろんな情報が入ってきます。結果お客様が喜びます。

さて、持ち帰った釣具をJUNさんに預けてHP制作に入れます。いきなり30品目のWebページを作ったJUNさんは目がまた悪うなったと泣いてました。そして現在ではGear-Labは数えていますが3000ページ以上のサイトになっています。このときに名前もGear-Labに決定しました。

全国に名品・逸品といわれる釣り具や、工夫を凝らしたこだわりの釣り具は「良いもの」であってもそれが全国の釣り人に知られるチャンスは残念ながらごくわずか。（続く）

「アミてっぽう」10月リリース

差し込むだけで手を汚さずアミエビが簡単に簡に入りすばやくアミカゴに入れられアミてっぽうをリリースします。

アミエビをマキエカゴに入れる作業では日本一速い道具ではないかと思います。動画では39秒で13個のアミ入れをしています。これは3秒で1個のアミ入れをしていることになります。また、手が汚れないという点でアミエビを扱う釣り人には嬉しい便利アイテムです。軽くコンパクトそして安価です。アミエビ臭くならない餌釣りとしては今後全国の釣具店で面白い展開となると思います。

「NEWゴミパッキン」再登場。

永いこと販売中止していました「ゴミパッキン」が新しい機能を付加して再登場します。販売する方の立場で申し上げますが、これを購入される人って本当に良い方なんだなあと思います。環境整備に直接的に働きかけたり、寄付されるのも良いし、自らゴミを出さない生活をするのも良いし、最近は企業がカーボンフットプリントを表示していることもあります。釣り人というポジションで考えると小さなゴミをポケットに入れて持ち帰る姿勢の人に頭が下がります。そんな素晴らしい人がGear-Labのお客様に多いのです。

そうした各地のメーカーと全国の釣り人を直接結びつけるために運営を始めよう。全国の名品・逸品・こだわりの釣り具を、広く釣り人に知っていただきたい。ユニークな商品を開発する力があれば、たとえばサラリーマンの方であってもメーカーとして参加できるのが【ぎあ・らぼ】の大きな特徴。フィッシング・ベンチャーを応援しながら、釣り人の夢をかなえるお手伝いをしていこう。自分たちが厳選した発明釣具やこだわり釣具など面白い道具だけを重点的に扱う。というのがGear-Labの基本的なテーマだということで2011年11月にスタートしました。もうすぐ9年目に突入です。基本テーマは変わらないのですが、最初の頃のGear-Labとは全然違うスタイルになっています。そしてこれからも変わり続けます。釣具は永遠に成長変化していきます。Gear-Labのような小さな会社も変わらないかと世の中から消滅させられてしまいます。

会社の寿命は一昔前は30年と言われていた時代がありました。今では10年くらいでしょう。ネットの中では3年かもしれません。ちなみに、最近の総務省のデータでは、設立10年後に残っている会社は6%だそうです。

衰退しないために時代に即したビジネスの形に、新しい風を入れながら、どんどん生まれ変わらなくてはなりません。コンセプトは正しい。でも売れないというのはお客様が喜んでいない証拠です。やっぱり何かが間違っているのでしょうか。巨大なトヨタも、高級車路線にあっさり見切りをつけて、環境環境といっています。あの変わり身の早さは、見事なものですね。Gear-Labも変わりつづけます。皆さんと一緒に釣具を通して釣りの人生を楽しめたらと思っております。

株式会社ギアラボ

〒813-0016 福岡市東区香椎浜2丁目5-2-701

Tel 092-663-5196

Fax 092-663-5102

Mail NQE50210@nifty.com

このお気楽ニュースレターのバックナンバーは下記にございます。

<http://www.gear-lab.com/newsletter/main.htm>

Gear-labホームページ

<http://www.gear-lab.com>

毎月の新製品に追われ、全国を旅しながら、モノづくりと販売のお手伝いをしています。

お気軽にメールください。面白い釣具があれば全国どこへでも参上します！一杯呑みましょう。（～～）

福山克義（ふくやまかつよし）

メール NQE50210@nifty.com お気楽DETCこと福山でした

携帯 090-8406-9591

